



大阪・東京からも近く便利になりました。

【病院までのアクセス】

- 電車・・・
 - ・JR紀勢本線(きのくに線)
 - ・新大阪～紀伊田辺へ(特急約2時間20分)
 - ・天王寺～紀伊田辺へ(特急約2時間)
 - ・新宮～紀伊田辺へ(特急約1時間45分)
- バス・・・
 - ・高速バス
 - ・JR大阪駅、なんば(OCAT)～紀伊田辺駅(約2時間30分)
 - ・明光バス(新湯崎・三段壁行き)
 - ・紀伊田辺駅～南和歌山医療センターへ(約13分)
 - ・白浜駅～南和歌山医療センターへ(約10分)
- 車で・・・
 - ・松原JCT(大阪)～南紀田辺へ(約130km)
 - ・国道42号線 白浜方面へ(約15分)
- 飛行機で・・・
 - ・羽田空港(東京)～白浜空港へ(60分)
 - ・バスで南和歌山医療センター下車



独立行政法人 国立病院機構
南和歌山医療センター

〈資料のご請求・お問い合わせ先〉
管理課給与係

〒646-8558 和歌山県田辺市たきない町27番1号
TEL.0739-26-7050 FAX.0739-24-2055
URL <http://www.hosp.go.jp/~swymhp2/>
E-mail swymhp@swakayama.hosp.go.jp

創医工夫。

日本の医療を創るため、自ら考え行動する人を育てる。



National Hospital Organization
Minami Wakayama Medical Center

臨床研修医募集案内

CLINICAL MEDIC RECRUITMENT GUIDANCE



独立行政法人 国立病院機構
南和歌山医療センター

日本医療機能評価機構認定病院(一般病院)

医師としての誇り、人としての喜びを知る場所へ。



災害救助活動における新システム防災ヘリコプター



救命救急センター (ICU)



当院屋上からの田辺湾を一望できる景観



救命救急センター

南和歌山医療センターは、
思いやりのある医療を志します。
あなたの権利を尊重し
あなたを中心とした
あなたに適した医療を提供します。

南和歌山医療センターの概要

■ 病院規模

- 入院定床 316床 (一般病床)
内訳: 救命救急センター 14床 / 緩和ケア病棟 8床
- 外 来 400人

■ 診療科

- ・内科 ・循環器科 ・消化器科 ・呼吸器科 ・小児科 ・産婦人科 ・外科 ・胸部心臓血管外科 ・呼吸器外科
- ・乳腺外科 ・心臓血管外科 ・整形外科 ・脳神経外科 ・眼科 ・耳鼻咽喉科 ・泌尿器科 ・皮膚科 ・麻酔科
- ・放射線科 ・リハビリテーション科 ・歯科口腔外科 ・神経内科 ・精神科

■ 診療機能

- ・がん診療 ・循環器等医療 ・救急医療 ・緩和ケア

■ 特 徴

- ・救命救急センター ・緩和ケア病棟 ・日本医療機能評価機構認定施設 ・臨床研修指定病院 ・臓器提供施設
- ・和歌山県エイズ拠点病院 ・がん診療拠点病院 ・NST稼働施設 ・地域医療支援病院

■ 施設認定

- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| ・日本内科学会 | ・日本乳癌学会 | ・日本血液学会 |
| ・日本外科学会 | ・日本気管食道科学会 | ・日本神経学会 |
| ・日本整形外科学会 | ・救急科医学会 | ・日本脳卒中学会 |
| ・日本脳神経外科学会 | ・日本静脈経腸栄養学会 | ・日本ハイパーサーミア学会 |
| ・日本泌尿器科学会 | ・日本胸部外科学会 | ・日本臨床細胞学会 |
| ・日本眼科学会 | ・日本病理学会 | ・日本臨床検査医学会 |
| ・日本麻酔科学会 | ・日本循環器学会 | ・日本皮膚科学会 |
| ・日本医学放射線学会 | ・日本消化器病学会 | ・日本呼吸器外科学会 |
| ・日本放射線腫瘍学会 | ・日本消化器外科学会 | |

■ 職 員 数

- 全職員 324人 (平成21年6月1日現在)
内訳: 医療職 (一) 40人 / 医療職 (二) 45人 / 医療職 (三) 205人 / 事務職 20人 / 技能職 12人 / 福祉職 2人



南和歌山医療センター 院長
脳神経外科(脳腫瘍外科・脳卒中外科)医師
中井 國雄

当院は平成16年の独立行政法人化後、病院ごとの自主性や主体的運営が認められたことに伴い地域の医療ニーズを考え、平成17年には緩和ケア病棟を開設しました。平成18年には救命救急センターを開設し、人員を十分に配置し紀伊半島南半分からの重症救急患者さんを24時間体制で受け入れております。救急医療の充実に加えて、がん連携拠点病院として最新型強度変調リニアック装置を導入し、高精度な放射線療法を可能としました。地域医療連携に関しても双方向型のスムーズな病診連携、病病連携を確立することが急務であると考え、平成20年にはITを活用した医療連携ITシステムを設置いたしました。さらに今後の計画として緩和ケア病棟の拡充も検討しております。

これらに伴い当院の職員には、超急性期医療から、最新がん治療、終末期医療までをカバーする能力が求められております。医師数50名弱、看護師数217名の施設としては少々背伸びしている感もあるのですが、当院の伝統である「一丸となって取り組む能力」を基に、「思いやりのある医療」の基本理念を実践すべく日夜努力しているところです。「医療の質」の向上が問われている昨今ですが、高額な医療機器や設備を充実することのみで「質」の向上が図られるものではなく、愛情あふれる温かい心を持った職員がそろって初めて可能であることを、肝に銘じて職員一同で力を合わせて頑張っております。

医療と経営の質が両立する、よりよい21世紀の病院を目指していますので若い情熱溢れる先生方と、一緒に働けるのを心待ちに致します。

臨床研修医の募集について

研修の目標

医療情報、技術の修練にとどまらず、患者の身体的、精神的苦痛に共感する感性を養い、患者及び家族の抱える社会的、心理的問題を全人的な立場で前向きに対処し、新しい医の倫理に立った診療を実践することを目的とする。

- 臨床医の第一歩として大切なプライマリーケアの習得を目標とする。
- 内科系、外科系疾患の診察をし、検査及び診断と治療ができる。
- 頻度の高い小児疾患、産婦人科疾患、精神科疾患の臨床経験をし、地域医療の実状を理解する。
- 適正なカルテ記載、安全医療及びクリニカルパスを活用したチーム医療ができる。
- 症例検討会及びCPCにて発表ができる。

身分

国家公務員の非常勤職員

応募資格 および 募集定員

医師免許取得見込者 1年次 / 2名 2年次 / 2名

採用方法

マッチング制度により採用

応募手続き

応募手続きについては、当院ホームページ〔臨床研修医募集〕をご覧ください。
<http://www.hosp.go.jp/~swymhp2/>

選考方法

書類審査および面接(面接期間は随時実施しています。ご相談ください。)

お問い合わせ先 / 応募提出先

管理課給与係 TEL.0739-26-7050 FAX.0739-24-2055
E-mail swymhp@swakayama.hosp.go.jp



モーニングカンファレンス

救命救急センターでは、毎朝夜間に診断・治療した症例について、研修医を交えて各科医師が合同でカンファレンスを実施。横断的専門的知識・技術が吸収できる、当センターの自慢のシステムです。

初期臨床研修プログラム

●プログラムの特色

平成22年度から初期臨床研修の研修プログラムが見直され、必修科目が7科目より3科目（内科6ヶ月、救急3ヶ月、地域医療1ヶ月）に変更となりました。また必修科目の期間も16ヶ月から10ヶ月になりました。当院では、他の医療機関との協力で研修医の自主性を尊重したプログラムを作成しています。

●研修スケジュール 〈プログラム例〉 募集人数 / 2名

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科A	内科B	内科C	救急			地域医療	外科A				
2年次	外科B	自由選択枠										

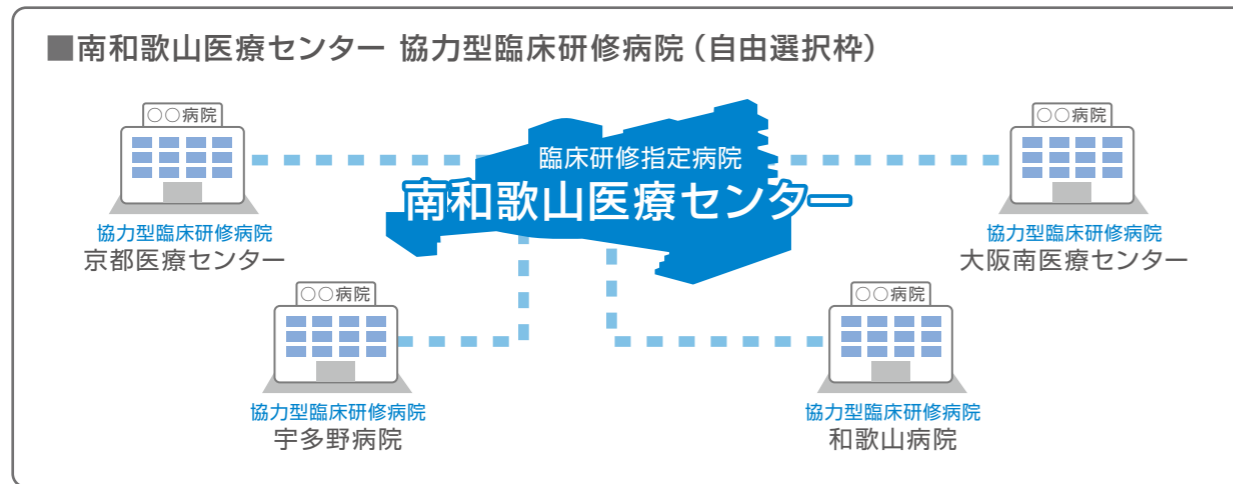
※必修以外であれば外科を除くことが可能で、内科・救急・地域医療の順次変更等も可能です。

※内科A・B・Cは内科・循環器科・呼吸器科から選択。

外科Aは消化器・一般外科。外科Bは胸部心臓血管外科・整形外科・外科・脳神経外科から選択。

◎自由選択枠では、協力型の病院での研修も可能。

近畿ブロック内の国立病院機構 京都医療センター、大阪南医療センター、宇多野病院、和歌山病院で実施。



後期臨床研修プログラム

■ローテートコース

救命系ローテートプログラム・麻酔科を含むフレキシブルローテートがチョイスできます。

■専門医・認定医養成コース

	卒後3年目	卒後4年目	卒後5年目	卒後6年目	卒後7年目
血液内科コース	内科基礎プログラム		血液内科専門プログラム		
呼吸器内科コース	内科基礎プログラム		呼吸器専門プログラム		
循環器内科コース	内科基礎プログラム		循環器専門プログラム		
消化器外科コース	外科系基礎プログラム	消化器外科専門プログラム			
脳神経外科コース	脳神経外科プログラム				
診療科認定医(2)整形外科コース	災害外科基礎プログラム	整形外科基礎プログラム	整形外科専門プログラム1	整形外科専門プログラム2	整形外科専門プログラム3
診療科認定医(2)整形外科コース編入コース	他施設での研修 整形外科基礎プログラム		整形外科専門プログラム1	整形外科専門プログラム2	整形外科専門プログラム3
呼吸器外科・心臓血管外科・乳腺科3年コース	外科系基礎プログラム	専門プログラム(呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科)1			
呼吸器外科・心臓血管外科・乳腺科5年コース	外科系基礎プログラム	専門プログラム(呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科)2			
眼科コース	眼科基礎プログラム1	眼科基礎プログラム2		眼科専門プログラム	
放射線科コース	放射線基礎プログラム			放射線専門プログラム	
麻酔科専門医養成コース	臨床麻酔基礎プログラム		臨床麻酔専門プログラム		
麻酔科標榜医養成コース	臨床麻酔基礎プログラム		他科のプログラム		
救急医療専門医コース	救急医療基礎プログラム		Subspecialty取得プログラム	救急医療専門プログラム	

※上記の各診療科コース（課程）は、3ヶ月間、6ヶ月間、1年間等さまざまな期間の当該診療科または関係診療科のプログラム（科目）を適宜組み合わせる構成される。これらはコースの一例であるが、これら以外の組み合わせについても必要性に応じて柔軟に構築することが可能。

Message...1

**働きがい、学びがいのある情熱あふれる当院で、
あなたの臨床医の道、始めてみませんか！**

こんにちは。平成20年11月より南和歌山医療センターの副院長をやっています加藤です。私は、30年間、大阪の国立病院（機構）に勤務していましたが、この和歌山県がウイルス肝炎のキャリア率が高く、肝臓癌死亡者数も全国で10番以内と多いにも関わらず、肝臓専門医がきわめて少ない県であり、また、私が和医大出身で、中井院長が大学で苦業を共にした親友ということもあり、あまり迷うこともなく転職を決めました。

この田辺に来て驚いたことは、風光明媚な自然と、超美味な魚もさることながら、当院の職員の活気、やる気とチームワークの素晴らしさです。とくに医師は、常勤医が前任病院に比べ、100人も少ないわずか40人余りですが、勝るとも劣らない充実した診療を行っています。当院の売りの1つ、救命救急センターの朝8時前のカンファレンスに始まり、時間外には野球部、卓球部、ビーチサッカー部の活動も盛んです。

こんな働きがい、学びがいのある情熱と太陽のこの南和歌山医療センターで、あなたの臨床医の道、始めてみませんか！

副院長
加藤 道夫

Message...2

**首都圏への移動も便利、
美しい自然に囲まれた快適な環境です。**

初期臨床研修の2年間でどこでどう過ごすかによって、その後の進路が決まってしまうと思っている方も多いと思います。また大学病院や都市部の大きな研修病院で研修を受けておけば大きな間違いはないだろうとそれらを希望される方がほとんどでしょう。本州最南端近くのこんな田舎の病院で研修していったい何ができるの？他の人たちより遅れをとるのでは？と考えられている皆さんに、ぜひ当院を見学していただきたいと思います。たくさんの先輩たちが、親身になって指導してくれます。またここで初期研修を受けられた先輩たちの声を聞いてください。

当院は和歌山県でも南に位置します。時間的に一番近い大都市は、東京です。羽田から1時間余りで白浜空港へ、白浜空港から車で15分で当院です。主要な学会・研究会は半分が東京で開催されますが当院で夕方まで仕事をして9時には東京駅に着きますので学会出張に関しては不便を全く感じません。

病院は美しい田辺湾、南紀白浜の青い海、および遠く太平洋を見渡せる風光明媚な高台に位置しており、リゾート気分を味わいながら、実り多い研修ができると思います。救急医療に励むなかで、美しい自然や美味しい海山の幸は、心身をリフレッシュさせてくれると思います。

さて、つらい研修は体が持たないという昭和40年代、昭和50年前半生まれで初期研修医になられる方、白浜温泉へわずか10分で行ける当院へ、ぜひ研修にお越しください。

教育研修部長
堀内 哲也

Message...3

**疾患をパターンリズムで診療していくのではなく、
病態の本質を考えて診療することを学べる環境です。**

救急医療というのは消化器内科とか心臓外科とかいった臓器、器官の系統的な医学とは少し意味合いが違います。あなたは救急という言葉にどういったイメージを持っていますか？多くの場合、①腹痛、感冒、頭痛などを診ること。②休日や夜に患者を診ること。③死にそうになっている患者さんを診ること、など様々でしょう。では、当院での救命救急科での研修では何をやるのでしょうか？答えは“全てやっていただきます”です。私は、救急医療という仕事は、“目の前に患者さん（体の問題で困っている人）は、とにかく診る。そして、最初の1時間は頑張る。”ことだと考えています。

救急医療とは目の前に、困っている人がいてそれを何とかしてあげられるという、人としての根源的な欲求を満たす快感に満ちています。そして、全ての医師はこの欲求を忘れてはいけません。救急の研修は、どんな患者さんであっても自分で診て、自分の頭で考えて、自分でできることはして、できないことはできる人を探す。そして、自分にできることを、少しずつ増やしていくことが救急の研修だと考えています。ですから、“3日前からの腹痛”も、“1時間前からの胸痛”も、“心肺停止患者”も同じように診療していただきます。できることを増やすためには、救命救急科のパワーだけでは足りませんので、病院全体の医師がアシストしてくれます。

また研修のポジティブな要求には、可能な限り応えていきます。都会の病院のようにたくさんの症例を経験するわけにはいかないかもしれませんが、しかし、当院のような病院は、1例1例を大事に深く考え、疾患をパターンリズムで診療していくのではなく、病態の本質を考えて診療することを学べる環境だと思います。その本質を考える手助けをすることが、私たちの仕事だと考えています。私は、おいしい料理をあなたの口には持っていきません。しかし、あなたに、おいしい料理の食べ方を教えることはできます。よろしかったら、一緒においしい料理を食べに来ませんか？

救命救急科医長
川崎 貞男

処遇について

■臨床研修医の処遇

身分	： 国家公務員の非常勤職員
勤務時間	： 8時30分～15時（原則）
給与	： 月額基本給 約30万円+超過勤務手当、通勤手当等各種手当 （1年次、2年次共）実績額参考 月額約45万円
休暇	： 年次休暇（有給休暇） 3ヵ月勤務の後2日、6ヵ月勤務後に8日付与される。 1年3月経過後の次の1年間で10日+1日の11日付与 年末年始の休日（12月29日～1月3日） 公務傷病休暇等
社会保険	： 政府管掌保険、厚生年金、公務災害補償、雇用保険適用
健康管理	： 健康診断年2回実施
医師賠償責任保険の加入	： 個人による任意加入
外部の研修活動	： 学会、研究会等への参加を認める（費用は個人負担）
宿舎	： 敷地内に有（有料・個室）
食事	： 職員食堂を利用（有料：職員価格）
駐車場	： 職員駐車場を使用（無料）

■初期臨床研修プログラム終了後の研修（後期臨床研修プログラム）

身分	： 国家公務員の非常勤職員
勤務時間	： 8時30分～15時（原則）
給与	： 月額 約33万円+超過勤務手当、宿直手当、通勤手当等（1年目） 月額 約39万円+超過勤務手当、宿直手当、通勤手当等（2年目） 月額 約45万円+超過勤務手当、宿直手当、通勤手当等（3年目）
その他	： 宿舎 有、社会保険 有（休暇等臨床研修医と同じ）



宿舎

〔宿舎概要〕

- ◎月額 7,700円（共益費込み）
- ◎広さ 16.2㎡
- ◎ユニットバス、エアコン完備
- ◎ベット、机、電気スタンド支給
- ◎テレビ付き
- ◎インターネット可
- ◎オートロックで安心

周辺環境

美しい自然と美味しい海山の幸... 心身をリフレッシュできる周辺環境。

南和歌山医療センターは、田辺市（和歌山県のほぼ中央部、人口約7万2千人）の南西部に位置しています。田辺市は、年間を通して温暖な気候で、古くから文化、商工業の中心として発展した町で、梅、みかんなどの生産地として全国的に知られおり、粘菌学と民族学の研究に一生を捧げた南方熊楠が愛した土地としても有名です。また、周辺の熊野古道は世界遺産に登録されるほどの自然が残っています。

隣接する白浜町の温泉は全国的に有名で年間を通して沢山の観光客が訪れ、白浜空港を利用すれば東京から1時間というアクセスが魅力の1つとなっています。



和歌山県田辺市



白良浜海水浴場



円月島の夕日



すさみ町見老津の夫婦波



白浜空港

■ロゴマークの由来

南和歌山医療センターの基本理念である「思いやりのある医療を実践します」に基づき、



Minami Wakayama
Medical Center

- A** 明るく
- A** 挨拶があり
- A** 愛のある
- A** アカウンタビリティ（納得説明義務）

の4つの頭文字のAを基本デザインとしています。

丸みをおびた形で優しさを表現し、4つの理念が集まることで、空（明るい未来）に向かって羽ばたく鳥を表現しています。4つのカラーは黄色が明るさ、赤が愛、緑と青は南和歌山の自然の象徴である綺麗な海と、山を表現し、南和歌山医療センターの環境の良さをアピールしています。